



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

第105号

2016年（平成28年）6月1日（業務企画部発行）

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

ーミニブタ膵臓摘出モデルのご紹介ー

当社では、ミニブタの膵臓を全摘出したⅠ型糖尿病モデルの作製技術を習得し、受託試験での使用が可能になりました。このモデルでは、1カ月間血糖値が安定して高値を示すこと、さらにインスリン応答があることから、血糖コントロールを目的とした様々な医薬品、医療機器あるいは再生医療等製品の開発に有用なモデルです。

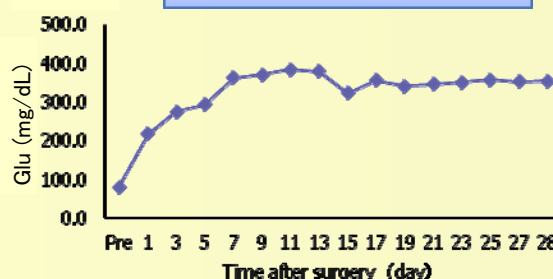
【試験方法】

試験動物：ミニブタ（ゲッチングン）

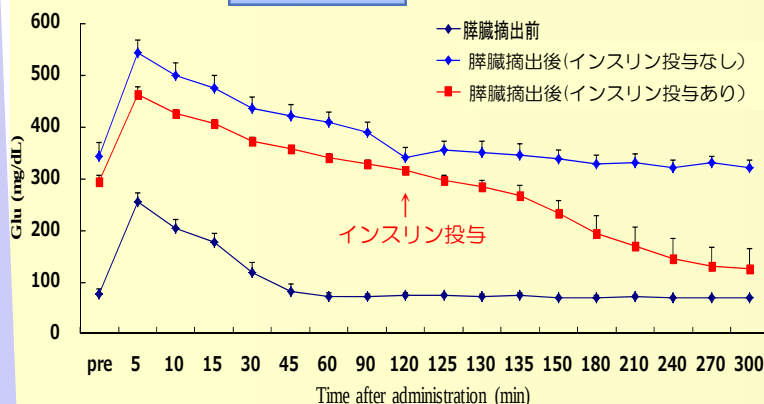
モデル作製：膵臓を全摘出、補液、
インスリンによる血糖コントロール

評価項目：血液学的検査、血液生化学的検査、
病理組織学的検査

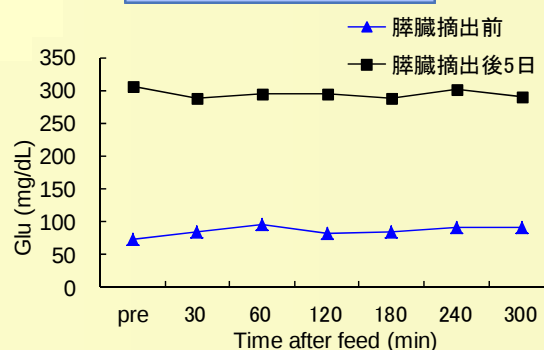
モデル作製後の血糖値の推移



糖負荷試験



食事による血糖値の影響



佐部利 典彦のアートギャラリー(103)

岐阜県出身(1969～)

作者の言葉

最近、気になる景色は何処かへの入り口や出口、行ったり来たりといった場所です。空や川や樹などから得たイメージを少し力を抜いて描いています。

タイトルcoming and going3



99cm×91cm 綿布に油彩

第59回日本腎臓学会学術総会において、下記の通りポスター発表を行います。

発表日：6月19日（日）

発表セッション名：バイオマーカー・薬剤性腎障害

会場：パシフィコ横浜 ポスター会場
(301+302、311～314)

時間：11:00～12:15

演題番号：P-347

演題：ウサギを用いた造影剤単独投与による腎障害モデルの作製

演者：杉浦 孝宏

第43回日本毒性学会学術年会

当社発表演題一覧

2016年6月29日（水）～7月1日（金）

ウイנקあいち【愛知県産業労働センター】

ポスター会場①7階、ポスター会場②8階

演 題：モルモットにおける皮膚ターンオーバーの違いについて

演 者：山田 恭史

発表日時：6月29日（水）ポスター会場② 17：30～18：15 質疑・応答コアタイム

演 題：CrI:CD1 (ICR) マウスの胚・胎児発生試験における背景データ
—CrI j : CD1 (ICR) マウスとの比較—

演 者：磯田 泰彰

発表日時：6月29日（水）ポスター会場② 17：30～18：15 質疑・応答コアタイム

演 題：国産Göttingen minipigs の一般毒性試験における各種背景データ（その2）

演 者：長瀬 孝彦

発表日時：7月1日（金）ポスター会場① 13：30～14：15 質疑・応答コアタイム

演 題：CT撮影装置を用いた幼若ミニブタの体表面積の計測

演 者：伊藤 格

発表日時：7月1日（金）ポスター会場① 13：30～14：15 質疑・応答コアタイム

ランチョンセミナーとブース展示のご案内

I. 株式会社日本バイオリサーチセンター

7月1日（金） 12：15～13：15 <9階 第6会場>

テーマ：医薬品・医療機器・再生医療等製品開発におけるミニブタ試験について

1. 非臨床・臨床一体型開発手法としての実験専門ブタの役割

講師：小林 英司先生（慶應義塾大学医学部 臓器再生学講座 特任教授）

2. ミニブタ実験の実際（経口・皮下投与、埋植、移植、透析）

講師：加藤 正巳（株式会社日本バイオリサーチセンター 試験第二部）

進行役：狩野真由美（株式会社日本バイオリサーチセンター 業務企画部）



企業ブース展示も行いますので、是非、お立ち寄り下さい。

II. オリエンタル酵母工業株式会社

6月30日（木） 12：00～13：00 <6階 第5会場>

テーマ：医薬品・医療機器開発におけるゲッチングンミニブタの有用性

演者：Lars Friis Mikkelsen（Ellegaard Göttingen Minipigs A/S, CEO）

Anette Blak Grossi（Ellegaard Göttingen Minipigs A/S, Head of Scientific Management）